ご使用の前に，この「取扱説明書」と「使用上のご注意」をよくお読みください。

MASPRO

# 屋外（内）用　ブースター　（家庭用）

## 取扱説明書

DIGITAL デジタル放送対応　人と環境の未来に RoHS対応

VU・BC BOOSTER
増幅チャンネル
FM・VHF ch.1〜12・UHF ch.13〜62・BS・CS

## VUBCB33N

JEITA DH

UHF・BC BOOSTER
増幅チャンネル
UHF ch.13〜62・BS・CS

## UBCB33N

FM・VHFミキサー内蔵

F型端子　33dB型

- 地上デジタル放送対応
- BSデジタル放送対応
- e2 by スカパー! 対応
- 2655MHz 対応

●CATVには使用できません。
●スカパー! には使用できません。

MASter of PROduction 生産の覇者

VUBCB33N
増幅部：屋外（内）用

VUBCB33N
電源部（WP6B）：屋内用
（屋外では使用しないでください。）

**VUBCB33N**
FM・VHF・UHF帯域とBS・CS帯域を増幅します。

**UBCB33N**
UHF帯域とBS・CS帯域を増幅します。
FM・VHF帯域は通過します。

## 優れた性能と機能

### 余裕のある高出力

UHF帯域は，アナログ7波+デジタル9波で103dBμ※の高い出力レベルが得られますから，放送波の多い地域で使用しても，障害のないきれいな画像が見られます。また，地上デジタル放送移行期のUHF多チャンネル受信にも対応できます。
※デジタル波の信号レベルが，アナログ波より10dB低い場合。

### 優れたシールド性能（特許出願中）

増幅部，電源部とも高周波回路を金属ケースでシールドし，入・出力端子にF型コネクターを使用していますから，外来電波による妨害を防ぐことができます。

### FM・VHF停止スイッチ（VUBCB33N）

FM・VHF停止スイッチによって，FM・VHFの作動を停止できますから，地上デジタル放送だけを受信するときや，地上アナログ放送が終了したときに，消費電力を抑えることができます。

### 異常お知らせ機能（特許出願中）

増幅部と電源部の間でショートしたり，断線したりした場合，電源部作動表示灯の色でお知らせします。

### スマートに設置できる電源部（特許出願中）

電源部に収納されている縦置き用スタンドを使用して，テレビラックの空きスペースにも，すっきりと設置できます。

### 壁面に取付可能

増幅部と電源部のどちらにも，壁面に取付ける状態で木ネジが収納されていますから，板壁面に簡単に取付けられます。

### 電源保護回路

増幅部と電源部の間でショートしても，電源保護回路によって，電源部を保護します。

JEITA DH　DHマーク（デジタルハイビジョン受信マーク）は，（社）電子情報技術産業協会で審査・登録された一定以上の性能を有する衛星アンテナ，UHFアンテナ，受信システム機器に付与されるシンボルマークです。

DIGITAL デジタル放送対応　各種デジタル放送を，より高画質で見るために，妨害電波の影響を受けにくい，高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している，信頼のマークです。

人と環境の未来に RoHS対応　EU（欧州連合）での電気・電子機器における特定有害物質の使用制限に適合した機器に，マスプロ電工が表示しているマークです。

## 安全上のご注意

**ご使用の前に，この「安全上のご注意」をよくお読みください。**

### 絵表示について

この「安全上のご注意」には，製品を安全に正しくご使用いただき，ご使用になる方や他の人への危害，財産への損害を未然に防止するために，いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

| 表示 | 意味 |
|---|---|
|  警告 | この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  注意 | この表示を無視して，誤った取扱いをすると，人が傷害を負う可能性が想定される内容，および，物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |

### 絵表示の例

| 絵表示 | 説明 |
|---|---|
|  | △記号は，注意（警告を含む）が必要な内容があることを示しています。<br>図の中に注意内容（左図の場合，警告または注意）が描かれています。 |
|  | ⃠記号は，禁止の行為を示しています。<br>図の中や近くに禁止内容（左図の場合，分解禁止）が描かれています。 |
|  | ●記号は，行為を強制したり，指示したりする内容を示しています。<br>図の中に指示内容（左図の場合，ACプラグをACコンセントから抜く）が描かれています。 |

## ⚠警告

●AC100V以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●ACコードを傷つけたり，加工したり，無理に曲げたり，ねじったり，引っ張ったり，加熱したりしないでください。また，重いものを載せたり，熱器具に近付けたりしないでください。ACコードが破損して，火災・感電の原因となります。ACコードが傷んだ場合（芯線の露出，断線など），販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●増幅部および電源部のケースを取外したり，改造したりしないでください。また，増幅部および電源部の内部には触れないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は必ず販売店にご依頼ください。

●増幅部および電源部の内部に，金属類や燃えやすいものなど，異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部を，風呂場・シャワー室などで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●電源部は，風通しの悪い場所で使用しないでください。風通しを悪くすると内部に熱がこもり，火災の原因となります。次のような使い方はしないでください。
- 押入れ・本箱・天井裏など風通しの悪い狭いところに押込む。
- テーブルクロスを掛けたり，じゅうたんや布団の上に置いたりする。
- 布や布団でおおったり，包んだりする。

●電源部に水をかけたり，濡らしたりしないようにしてください。電源部の上に水や薬品の入った容器を置かないでください。水や薬品が中に入った場合，火災・感電の原因となります。ペットなどの動物が，電源部の上に乗らないようにご注意ください。尿や糞が中に入った場合，火災・感電の原因となります。

●雷が鳴出したら，増幅部・電源部およびケーブル・ACプラグ・ACコードには触れないでください。感電の原因となります。

●増幅部と電源部は，必ずセットでご使用ください。他の機器または他メーカーのものと組合わせて使用しないでください。火災の原因となります。

# ⚠警告

●万一，増幅部および電源部の内部に，異物や水が入った場合，ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

●万一，増幅部および電源部を落としたり，ケースを破損したりした場合，ACプラグをACコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると，火災・感電の原因となります。

●万一，煙が出ている，変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると，火災・感電の原因となります。すぐにACプラグをACコンセントから抜き，煙や臭いがなくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。また，テレビの画像が映らない，音声が出ないなどの症状があるときも，テレビと共に電源部のACプラグをACコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから，絶対におやめください。

# ⚠注意

●増幅部および電源部は，湿気やほこりの多い場所，調理台や加湿器の近くなど，油煙や湯気などが当たるような場所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●増幅部および電源部は，不安定な場所に置いたり，取付けたりしないでください。落下して，けがの原因となることがあります。壁に設置する場合，接着剤やテープなどで取付けないで，壁面取付用木ネジでしっかりと取付けてください。

●増幅部および電源部は，温室やサンルームなどの，高温で湿度の高い所で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

●ACプラグをACコンセントから抜くときは，ACコードを引っ張らないでください。ACコードが傷つき，火災・感電の原因となることがあります。必ずACプラグを持って抜いてください。

●濡れた手で，ACプラグを抜差ししないでください。感電の原因となることがあります。

●電源部を移動させる場合，必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。ACコードが傷つくと，火災・感電の原因となることがあります。

●お手入れは，安全のため，必ずACプラグをACコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となることがあります。

●旅行などで長期間，使用しないときは，安全のため，必ずACプラグをACコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

●ACプラグは，ACコンセントに根元までしっかりと差込んでください。すき間があるとゴミがたまり，火災の原因となることがあります。また，ACプラグは定期的にACコンセントから抜いて掃除してください。

●ACコードは，結んだり，束ねたりしたままで使用しないでください。発熱して，火災の原因となることがあります。

●雷の発生が予想されるときは，前もって，ACプラグをACコンセントから抜いてください。落雷によって，火災の原因となることがあります。

●増幅部を取付けるときは，落下防止のため，増幅部や工具を固定物にヒモで結ぶなどの安全対策をしてから作業してください。

●台風や大雪などによって，増幅部のケース・取付金具・マストなどに異常があったり，蝶ナットなどがゆるんだりしていないか，必ず点検してください。また，破損・変形した場合，新しいものと交換してください。そのままにしておくと，ケースや取付金具などの部品が，破損，落下して，けがや建造物に損害を与える原因となることがあります。

●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをブースターへ接続するときは，テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いてください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると，使用しているテレビによっては，感電の原因となることがあります。

●テレビ受信工事には技術と経験が必要ですから販売店にご相談ください。

# 各部の名称と機能

## 増幅部

**ご注意**

- 利得調整を操作するときは，調整用ドライバーを使用してください。無理に回すと，こわれることがあります。
- スイッチは軽く操作してください。力を入れすぎると，こわれることがあります。

### FMカットスイッチ
（**UBCB33N**にはありません）

- FM電波が強く，受信障害が出る場合，「**FMカット**」にします。
- 出荷時は「**FM増幅**」になっています。

FM電波が弱い地域の場合　　FM電波が強い地域の場合

FM増幅　　FMカット

### フタの開閉について

- フタを開けるときは，フタ固定ビスをゆるめてから，手前に引上げてください。
- フタを閉めたあとは，必ず手で，フタ固定ビスをしっかりと締付けてください。

フタ固定ビス

フタ

### 入力レベル調整スイッチ
（**UBCB33N**に，FM・VHF，VHFはありません。）

**FM・VHF**（ch.1～3）
**VHF**（ch.4～12）
**UHF**（ch.13～62）
**BS・CS**

- 入力レベルが低い場合，「**0dB**」にします。
- 出荷時は「**⊖10dB**」になっています。

### VU入力切換スイッチ

- VHF・UHFの別入力，混合入力を切換えます。
- 出荷時は「**V・U別入力**」になっています。

**V・U別入力の場合**

**VU混合入力の場合**

FM増幅 FMカット FMカット
FM電波が強く，ビート縞が出る場合，「FMカット」にしてください。
VU入力切換
VU混合入力
V・U別入力
携帯カット ON OFF
基地局の電波が強く，細い横縞が断続的に出る場合，「ON」にしてください。
0dB ⊖10dB FM・VHF ch.1～3
0dB ⊖10dB VHF ch.4～12
0dB ⊖10dB UHF ch.13～62
0dB ⊖10dB BS・CS
入力レベル調整
MIN. MAX.
利得
作動 FM・VHF 停止
VHFまたはFMを受信している場合，「停止」にしないでください。
電源
MASPRO
VU・BCブースター
VUBCB33N
出荷時の設定
利得は「MIN.」に入力レベル調整は「⊖10dB」になっています。
電流通過（最大0.27A）
VHF入力　VU混合/UHF入力　BS・CS入力　出力(DC15V受電)
Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ

### 電源（増幅部作動）表示灯

増幅部の作動時に「**緑**」に点灯します。

### FM・VHF停止スイッチ
（**UBCB33N**にはありません）

- FM・VHFを受信しない場合，「**停止**」にします。
（どちらかを受信する場合，「停止」にしないでください。）
- 出荷時は「**作動**」になっています。

FM・VHFを受信する場合　　FM・VHFを受信しない場合

作動

停止

### 壁面取付用木ネジ

（左右各1本）
p.6「**取付方法**」をご覧ください。

### 携帯カットスイッチ

- 携帯電話の基地局が近く，携帯電話の電波によって，受信障害が出る場合，「**ON**」にします。
- 出荷時は「**OFF**」になっています。

携帯電話で受信障害を受けている画面

携帯電話の基地局が近くにある地域の場合

ON

携帯電話の基地局が近くにない地域の場合

OFF

**Ⓐ VHF入力端子**
- VHFアンテナからのケーブルを接続します。
- VU混合入力のときは付属の防水キャップ（小）を取付けてください。

**Ⓑ VU混合入力端子 または UHF入力端子**

VU混合入力のケーブルまたはUHFアンテナからのケーブルを接続します。

**Ⓒ BS・CS入力端子**

BS・110°CSアンテナからのケーブルを接続します。

**Ⓓ 出力端子（DC15V受電端子）**

電源部の入力端子Ⓕからのケーブルを接続します。

### 利得調整
（**UBCB33N**に，FM・VHF，VHFはありません。）

**FM・VHF**（ch.1～3）
**VHF**（ch.4～12）
**UHF**（ch.13～62）
**BS・CS**

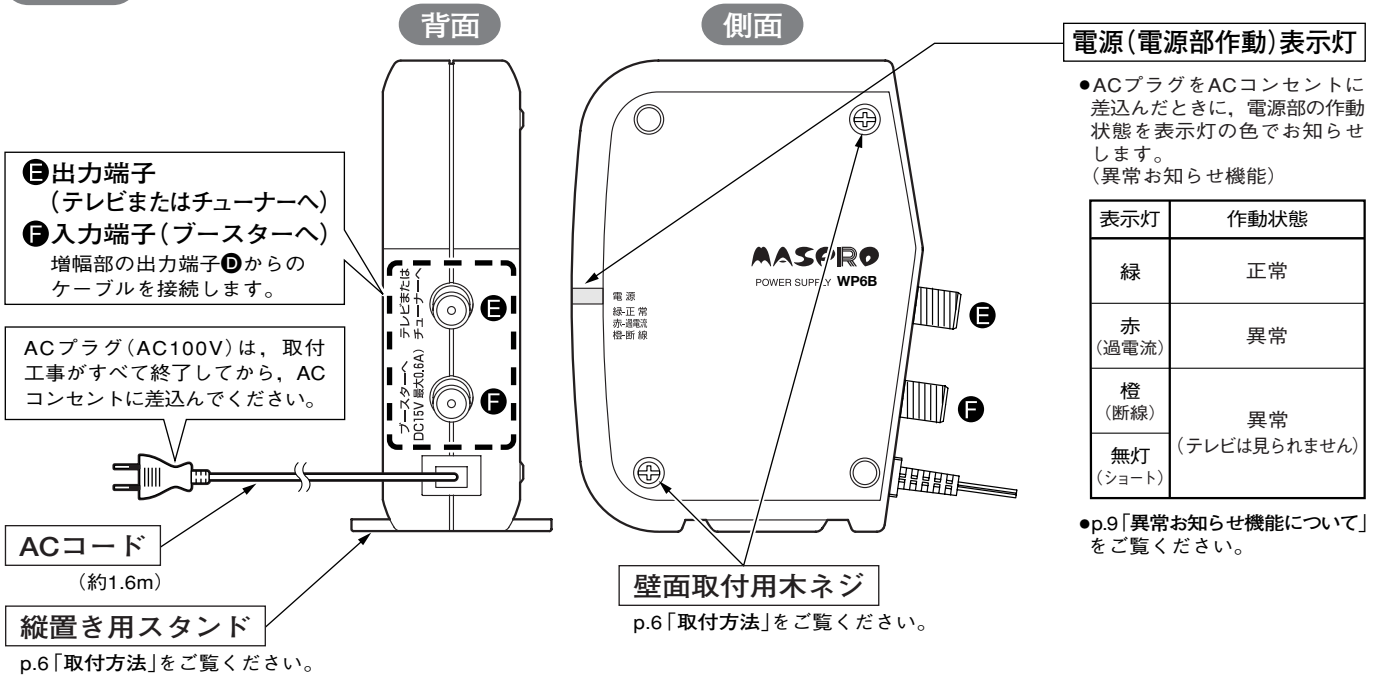
- 利得を0～⊖10dB連続して調整できます。
- レベルチェッカーなどを使用して，定格出力レベルを超えないように調整してください。
- UHFは，伝送波数によって，定格出力レベルが異なります。伝送波数が増えた場合，出力レベルを再調整してください。

| 帯域 | 波数 | 定格出力レベル |
|---|---|---|
| UHF | 2波（アナログ） | 111dBμ |
| | 7波（アナログ）＋9波（デジタル） | 103dBμ※ |

※ デジタル波の信号レベルが，アナログ波より10dB低い場合。

- 出荷時は「**MIN.**」になっています。

## 電源部

| 表示灯 | 作動状態 |
|---|---|
| 緑 | 正常 |
| 赤（過電流） | 異常 |
| 橙（断線） | 異常（テレビは見られません） |
| 無灯（ショート） | |

## 接続例（増幅部の出力を4分配する場合）

**ご注意**

- VHFアンテナ，UHFアンテナ，増幅部は，1m以上離してください。アンテナが接近しすぎると，アンテナの性能が劣化します。また，アンテナと増幅部が接近しすぎると，ブースターが発振して，受信障害になることがあります。
- 各アンテナからのケーブルは，間違えないように正しく接続してください。

VU混合入力の場合

V･U別入力の場合

UHF　UHF

VHF　VHF

1m以上

1m以上

BS･110˚CS（右旋円偏波）

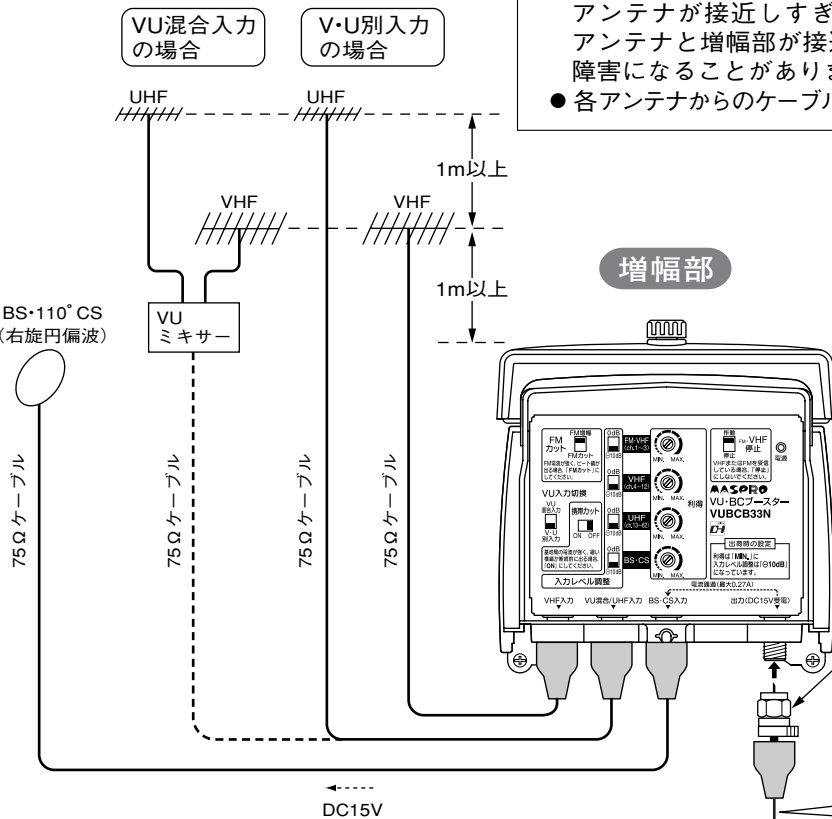
VUミキサー

75Ωケーブル　75Ωケーブル　75Ωケーブル　75Ωケーブル

増幅部

FMカット　VU入力切換　入力レベル調整　MASPRO VU･BCブースター VUBCB33N　出荷時の設定　VHF入力　VU混合/UHF入力　BS･CS入力　出力（DC15V受電）

DC15V

F型コネクター（付属品）
- 締付トルク 2N･m（21kgf･cm）

**ワンポイントアドバイス**

衛星放送（BS･110˚CS）は，地上放送のように，受信レベルが地域によって極端に低くなることは，ほとんどありません。BS･110˚CSの調整は，出力信号がひずまないように，入力レベル調整「⊖**10dB**」，利得調整「**MIN.**」の状態から始めることをおすすめします。

**ご注意**

増幅部からテレビまでは，低損失75Ωケーブル（**S5CFB**）で80mが限度です。

VHF･UHF　BS･110˚CS　DC15V

**電源部との接続について**

分配器とテレビ端子を使用しないで，増幅部と電源部を直接，接続することもできます。

電源部

地上･BS･110˚CSデジタルチューナー

電源供給㋖

UHF（地上デジタル放送）

BS･110˚CS

VU/BS（CS）セパレーター **SR2TL2-P**

AC100V

映像　音声

テレビ

テレビ端子（電源挿入型）**DSKTD**

赤い端子

DC15V

低損失75Ωケーブル **S5CFB**

DC15V

電流が通過する端子に接続してください。

DC15V

4分配器 **4SPFA**

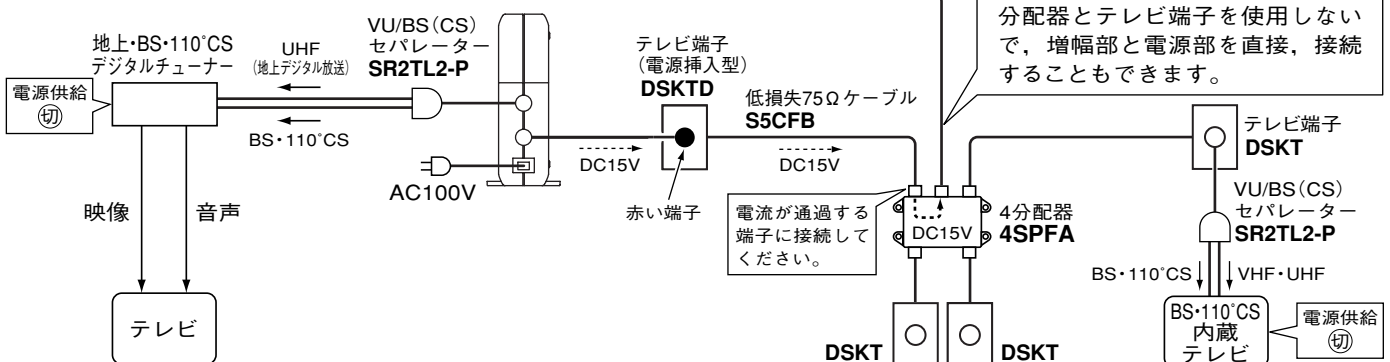
**DSKT**　**DSKT**

テレビ端子 **DSKT**

VU/BS（CS）セパレーター **SR2TL2-P**

BS･110˚CS　VHF･UHF

BS･110˚CS内蔵テレビ

電源供給㋖

# 取付方法

## 増幅部

### マスト

マストに図のように
取付けてください。

マスト(別売)
(適合マスト径
22〜48.6mm)

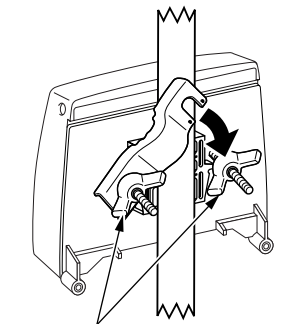
BS・110°CS
アンテナへ

UHF
アンテナへ

VHF
アンテナへ

**マストへの取付け**

蝶ナット(2個)をしっかりと
締付けてください。

**ご注意**

入力と出力のケーブルは，束ねたり，増幅部に巻付けたりしないでください。

ケーブルの固定には，別売の**支柱スタンドオフ**を使用してください。

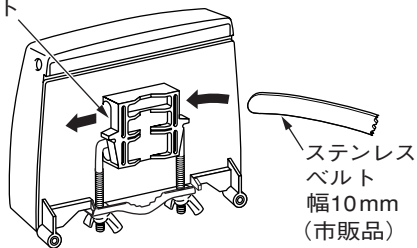
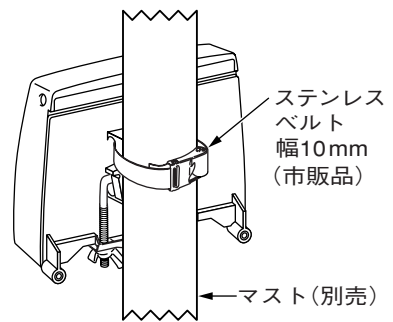
ケーブルをつたって雨水がケースに入らないように，ケーブルをU字形に配線してください。

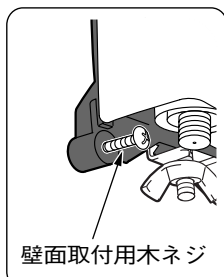
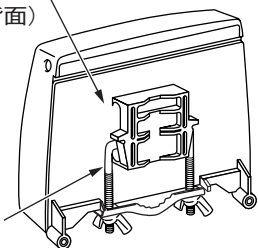
電源部へ

**適合マスト径(22〜48.6mm)以外のときは**

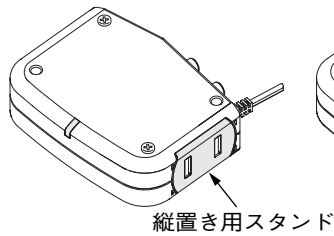
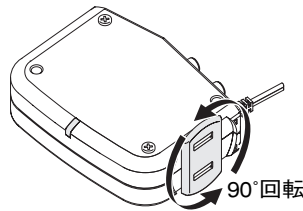
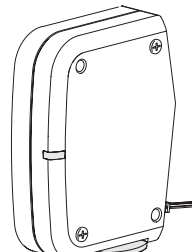
市販のステンレスベルトを使用して取付けられます。

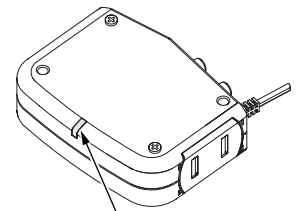
① 市販のステンレスベルト(幅10mm)を増幅部のステンレスベルト取付孔に通します。

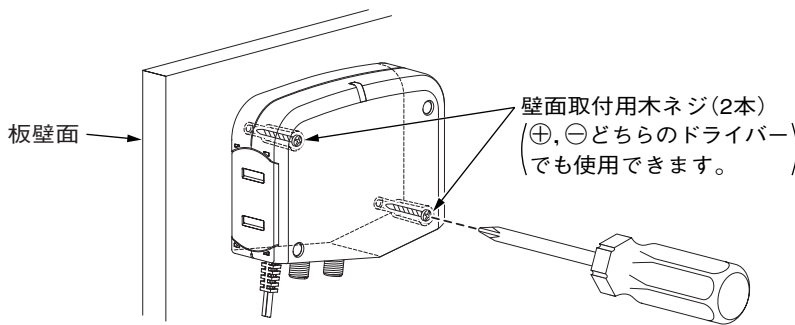
② マストに取付けて，ステンレスベルトをしっかりと締付けます。

### 板壁面

ドライバーで，増幅部に収納されている壁面取付用木ネジ(2本)を板壁面にねじ込みます。

## 電源部

### 据置き

**●縦置き**　縦置き用スタンドを使用します。

①縦置き用スタンドを「カチッ」とロックするまで90°回転します。

②縦置きにします。

**●横置き**

縦置き用スタンドを使用しないで横置きにできます。

### 板壁面

ドライバーで，電源部に収納されている壁面取付用木ネジを板壁面にねじ込みます。

**ご注意**

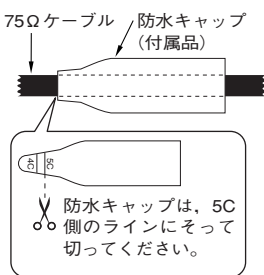
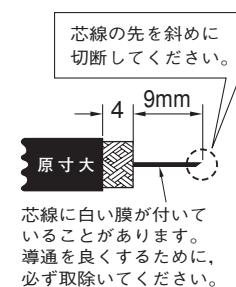
- 電源部をAMラジオの近くに置くと，ラジオに雑音が入ることがあります。できるだけ，ラジオと電源部を離してお使いください。
- 電源部は，温度が上昇しないように，風通しのよい場所に設置してください。また，長期間，ご使用にならないときは，ACプラグをACコンセントから抜いてください。

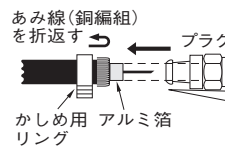
## F型コネクターの取付方法

- 接触不良やショートを防ぐため，プラグはていねいに取付けてください。
- ケーブルは5Cをお使いください。

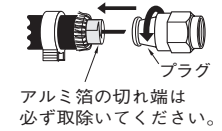
### ①増幅部に接続するケーブルは，付属の防水キャップに通してください。

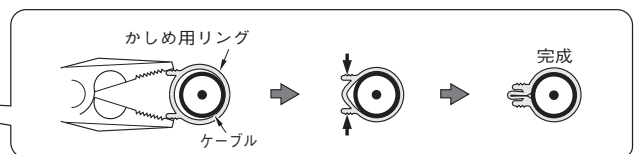
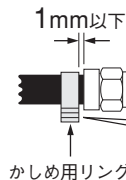
### ②ケーブルの加工

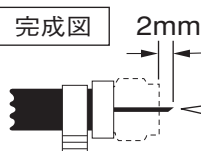
芯線に白い膜が付いていることがあります。導通を良くするために，必ず取除いてください。

### ③プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

**アルミ箔がはがれる場合**

プラグの内側にアルミ箔が入るように，アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら，ていねいに押込んでください。

アルミ箔の切れ端は必ず取除いてください。

### ④かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないように，プラグの根元でしっかりと圧着してください。

**芯線の長さは，必ず2mmにしてください。**

芯線が長すぎると，コネクターが破損して機器が故障します。

**芯線は，まっすぐにしてください。**

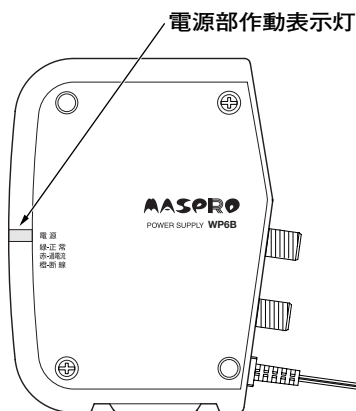
芯線が曲がっていると，ショートして機器が故障します。

## きれいなテレビが見られないときは

<table>
<tr><th>症状</th><th>原因</th><th>処置</th></tr>
<tr><td rowspan="3">画像が出ない<br>信号が受信できません。<br>UHF・BS・110°CS（デジタル放送）<br>VHF・UHF・BS（アナログ放送）<br>●デジタル放送で画面に表示されるメッセージは，一例です。<br>●p.9「異常お知らせ機能について」もご覧ください。</td><td>VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。（VHF・UHFのとき）</td><td>●VU入力切換スイッチが，正しく操作してあるか確認してください。</td></tr>
<tr><td>FM・VHF停止スイッチが「停止」になっている。（VHFのとき）</td><td>●FM・VHF停止スイッチを「作動」にしてください。（VUBCB33N）</td></tr>
<tr><td>電源が供給されていない。</td><td>●増幅部・電源部の作動表示灯は「緑」に点灯していますか。<br>（増幅部の出力端子Ⓓまたは電源部の入力端子Ⓕがショートしていると電源保護回路が作動して，作動表示灯が消えます。ACプラグをACコンセントから抜いて，原因を取除き，再度，ACコンセントに差込んでください。）<br>●増幅部の出力端子Ⓓに，DC15Vが供給されているか確認してください。<br>（出力端子Ⓓに接続するケーブルのF型コネクターにテスターを接続して確認できます。）<br>●F型コネクターの芯線が短かったり，芯線にあみ線（銅編組）やアルミ箔が触れたりしていないか確認してください。<br>●各ケーブルが，断線またはショートしていないか確認してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像にモザイク状のノイズが出ている<br>UHF（地上デジタル放送）<br>デジタル放送では，入力レベルが低くても高くても症状は同じで，モザイク状のノイズが出たり，映らなくなったりします。</td><td>UHFアンテナからの入力レベルが低い。</td><td>●UHFの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし，UHFの利得調整を㊨へゆっくり回してください。</td></tr>
<tr><td>UHFアンテナからの入力レベルが高い。</td><td>●UHFの入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし，UHFの利得調整が「MIN.」でないときは，利得調整を㊧へゆっくり回してください。<br>ご注意<br>地上アナログ放送の入力レベルは，必ず実用入力レベルを超えないように設定してください。実用入力レベルを超えて使用すると，地上デジタル放送の画面にモザイク状のノイズが出ることがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像にスノー（ザラザラ）ノイズが出ている<br>VHF・UHF（地上アナログ放送）</td><td>VU入力切換スイッチが正しく操作されていない。</td><td>●VU入力切換スイッチが，正しく操作してあるか確認してください。</td></tr>
<tr><td>VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが低い。</td><td>●VHFに症状が出る場合，FM・VHFまたはVHFの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし，FM・VHFまたはVHFの利得調整を㊨へゆっくり回してください。（VUBCB33N）<br>●UHFに症状が出る場合，UHFの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし，UHFの利得調整を㊨へゆっくり回してください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">画像にビート縞が出ている<br>VHF・UHF（地上アナログ放送）<br>画像にワイパー現象が出ている<br>VHF・UHF（地上アナログ放送）</td><td>FM電波が強い。</td><td>●ch.1～3の画面に障害が出るときは，FMカットスイッチを「FMカット」にしてください。（VUBCB33N）</td></tr>
<tr><td>VHFまたはUHFアンテナからの入力レベルが高い。</td><td>●VHFに症状が出る場合，FM・VHFまたはVHFの入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし，FM・VHFまたはVHFの利得調整が「MIN.」でないときは，利得調整を㊧へゆっくり回してください。（VUBCB33N）<br>●UHFに症状が出る場合，UHFの入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし，UHFの利得調整が「MIN.」でないときは，利得調整を㊧へゆっくり回してください。</td></tr>
<tr><td>他の電波と混信している。（ビート縞のとき）</td><td>●画質が最も良くなるように，VHFまたはUHFのアンテナの方向を調整してください。</td></tr>
</table>

| 症状 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 画像にモザイク状のノイズが出ている<br>BS・110°CS（デジタル放送）<br>デジタル放送では，入力レベルが低くても高くても症状は同じで，モザイク状のノイズが出たり，映らなくなったりします。 | BS・110°CSアンテナの方向がずれている。 | ●BS・110°CSアンテナの方向がずれていないか確認してください。ずれているときは，画像を見ながら，ノイズがなくなるようにBS・110°CSアンテナの方向（方位角と仰角）を再調整してください。 |
| | 近くにレーダー基地または空港がある。 | ●近くにレーダー基地や空港があるときは，BS・110°CSアンテナをレーダーなどの電波ビームから外れる低い位置か，建物の陰など，妨害の影響を受けない場所に移動してください。 |
| 画像にスパークリー（めだか状）ノイズが出ている<br>BS（アナログ放送） | BS・110°CSアンテナからの入力レベルが低い。 | ●BS・CSの入力レベル調整スイッチを「0dB」にし，BS・CSの利得調整を㊨へゆっくり回してください。<br>●BS・110°CSアンテナからのケーブルをできるだけ短くしてください。 |
| | BS・110°CSアンテナからの入力レベルが高い。（モザイク状のノイズのとき） | ●BS・CSの入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にし，BS・CSの利得調整が「MIN.」でないときは，利得調整を㊧へゆっくり回してください。 |

## 異常お知らせ機能について

●ACプラグをACコンセントに差込んだときに，正常に作動しているか，電源部作動表示灯の色で確認できます。
●電源部作動表示灯が「緑」以外のときは，ACプラグをACコンセントから抜いて，原因を取除き，再度，ACコンセントに差込んでください。

| 電源部作動表示灯 | 原因 | 処置 |
|---|---|---|
| 緑（正常） | —— | —— |
| 赤（過電流） | 出力電流が規格値（0.6A）を超えている。 | 増幅部，BS・110°CSアンテナ以外に，電源が供給される機器が接続されて，過電流になっていないか確認してください。 |
| 橙（断線） | 電源が供給されていない。 | ●F型コネクターの芯線が短くないか確認してください。<br>●増幅部と電源部の間でケーブルが断線していないか確認してください。 |
| 無灯（ショート） | 電源が供給されていない。 | ●F型コネクターの芯線にあみ線（銅編組）やアルミ箔が触れていないか確認してください。<br>●増幅部と電源部の間でケーブルがショートしていないか確認してください。 |

## ブースターは，正しくお使いください

**ブースターは，正しく取付けないと，ブースターが発振して，ご自宅やご近所のテレビの映りが悪くなることがあります。**

- 入力端子・出力端子の配線は，取扱説明書にしたがって，正しく接続してください。
- 入力と出力のケーブルは，束ねたり，増幅部に巻付けたりしないでください。
- マストに取付ける場合，VHF・UHFアンテナと増幅部との間隔を1m以上離してください。

## デジタル放送受信機のレベル表示について

ブースターを設置しても，デジタル放送受信機に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらなかったり，下がったりすることがありますが，ブースターの不具合ではありません。
「アンテナレベル」や「受信レベル」は，アンテナの方向調整を目的とした機能で，受信CN比の換算値を表しており，電波の強さを表すものではありません。

# 規格表

## VUBCB33N 増幅部

MASPRO

| 項目 | 規格 | | | |
|---|---|---|---|---|
| 伝送周波数帯域 | 76～108MHz（FM・VHF ch.1～3） | 170～222MHz（VHF ch.4～12） | 470～770MHz（UHF ch.13～62） | 1032～2655MHz（BS・CS） |
| 利得 | 20～25dB | 25～31dB | 26～35dB | 26～35dB |
| 利得偏差（P/V） | 3dB以内 | 3dB以内 | 5dB以内 | 6dB以内 |
| 入力レベル調整 | 0，⊖10dB切換 | 0，⊖10dB切換 | 0，⊖10dB切換 | 0，⊖10dB切換 |
| 利得調整範囲 | 0～⊖10dB以上（連続可変） | 0～⊖10dB以上（連続可変） | 0～⊖10dB以上（連続可変） | 0～⊖10dB以上（連続可変） |
| 雑音指数 | 3.5dB以下 | 3dB以下 | 3dB以下 | 5dB以下 |
| 実用入力レベル | 35.5（がまん限※1）～80dBμ（100dBμ※2） | 35（がまん限※1）～74dBμ（94dBμ※2） | 35（がまん限※1）～76dBμ（96dBμ※2）※3 | 45～68dBμ（88dBμ※2） |
| 定格出力レベル | 105dBμ（2波） | 105dBμ（5波） | 111dBμ ※3<br>103dBμ ※4 | 103dBμ（24波） |
| 混変調／相互変調 | ⊖46dB以下／⊖53dB以下 | | ⊖46dB以下※3／⊖68dB以下※4 | —／⊖55dB以下※5 |
| VSWR | 3以下 | | | 2.5以下 |
| 入・出力インピーダンス | 75Ω（F型コネクター） | | | |
| 電源 | DC15V 0.2A（FM・VHF停止スイッチ「停止」のとき：0.15A<br>BS・110°CSアンテナ給電時：0.47A） | | | |
| 使用温度範囲 | ⊖20～⊕40℃ | | | |
| 外観寸法／質量（重量） | 135（H）×148（W）×60（D）mm／約450g | | | |

※1 実用入力レベルの最小値（がまん限）は，地上アナログ放送受信で実用になる限界です。（スノーノイズを完全に除去できません）
※2 利得調整を「MIN.」（利得調整を㊧へいっぱいに回した状態）にし，入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの，最大の実用入力レベルです。
※3 アナログ2波の値です。
※4 アナログ7波＋デジタル9波の値です。（デジタル波の信号レベルが，アナログ波より10dB低い場合）
※5 2信号3次ひずみの値です。

## 電源部（WP6B）

MASPRO

| 項目 | 規格 |
|---|---|
| 1次電圧 | AC100V 50・60Hz |
| 消費電力 | 5.3W（BS・110°CSアンテナ給電時：10W） |
| 出力電圧（電流） | DC15V（最大 0.6A） |
| 入・出力インピーダンス | 75Ω（F型コネクター） |
| 挿入損失 | 2 dB以下（ 76～1336MHz）<br>2.5dB以下（1336～2655MHz） |
| 使用温度範囲 | 0～⊕40℃ |
| 外観寸法 | 120（H）×36（W）※×100（D）mm |
| 質量（重量） | 約250g |

※ 縦置き用スタンド幅 51mm

## 付属品

F型コネクター（5Cケーブル用）………… 6個
防水キャップ（大）………………………… 4個
防水キャップ（小，VHF入力端子用）……… 1個

## UBCB33N 増幅部

MASPRO

| 項目 | 規格 | | |
|---|---|---|---|
| 伝送周波数帯域 | 76～222MHz（FM・VHF ch.1～12） | 470～770MHz（UHF ch.13～62） | 1032～2655MHz（BS・CS） |
| 利得 | ——— | 26～35dB | 26～35dB |
| 通過帯域損失 | 1.5dB以下 | ——— | ——— |
| 利得偏差（P/V） | ——— | 5dB以内 | 6dB以内 |
| 入力レベル調整 | ——— | 0，⊖10dB切換 | 0，⊖10dB切換 |
| 利得調整範囲 | ——— | 0～⊖10dB以上（連続可変） | 0～⊖10dB以上（連続可変） |
| 雑音指数 | ——— | 3dB以下 | 5dB以下 |
| 実用入力レベル | ——— | 35（がまん限※1）～76dBμ（96dBμ※2）※3 | 45～68dBμ（88dBμ※2） |
| 定格出力レベル | ——— | 111dBμ ※3<br>103dBμ ※4 | 103dBμ（24波） |
| 混変調／相互変調 | ——— | ⊖46dB以下※3／⊖68dB以下※4 | —／⊖55dB以下※5 |
| VSWR | 3以下 | | 2.5以下 |
| 入・出力インピーダンス | 75Ω（F型コネクター） | | |
| 電源 | DC15V 0.15A（BS・110°CSアンテナ給電時：0.42A） | | |
| 使用温度範囲 | ⊖20～⊕40℃ | | |
| 外観寸法／質量（重量） | 135（H）×148（W）×60（D）mm／約440g | | |

※1 実用入力レベルの最小値（がまん限）は，地上アナログ放送受信で実用になる限界です。（スノーノイズを完全に除去できません）
※2 利得調整を「MIN.」（利得調整を㊧へいっぱいに回した状態）にし，入力レベル調整スイッチを「⊖10dB」にしたときの，最大の実用入力レベルです。
※3 アナログ2波の値です。
※4 アナログ7波＋デジタル9波の値です。（デジタル波の信号レベルが，アナログ波より10dB低い場合）
※5 2信号3次ひずみの値です。

## 電源部（WP6B）

MASPRO

| 項目 | 規格 |
|---|---|
| 1次電圧 | AC100V 50・60Hz |
| 消費電力 | 4.4W（BS・110°CSアンテナ給電時：9W） |
| 出力電圧（電流） | DC15V（最大 0.6A） |
| 入・出力インピーダンス | 75Ω（F型コネクター） |
| 挿入損失 | 2 dB以下（ 76～1336MHz）<br>2.5dB以下（1336～2655MHz） |
| 使用温度範囲 | 0～⊕40℃ |
| 外観寸法 | 120（H）×36（W）※×100（D）mm |
| 質量（重量） | 約250g |

※ 縦置き用スタンド幅 51mm

## 付属品

F型コネクター（5Cケーブル用）………… 6個
防水キャップ（大）………………………… 4個
防水キャップ（小，VHF入力端子用）……… 1個

MASter of PROduction 生産の覇者

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

| 特 許 | 第2572981号 |
|---|---|
| 登録意匠 | 第 859595号 |

2K56-178

**製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。**


マルチメディアの
＝マスプロ電工＝

本社 〒470-0194（本社専用番号）愛知県日進市浅田町上納80
技術相談 TEL名古屋（052）805-3366
受付時間 9～12時，13～17時
（土・日・祝日，当社休業日を除く）
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は，お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所
福 岡（支）（092）551-1711
九 州（シ）（092）551-1711
沖 縄（098）854-2768
鹿児島（099）812-1200
宮 崎（0985）25-3877
熊 本（096）381-7626
長 崎（095）864-6001
北九州（093）941-4026

広 島（支）（082）230-2351
中国四国（シ）（082）230-2359
下 関（083）255-1130
松 江（0852）21-5341

岡 山（086）252-5800
松 山（089）973-5656
高 知（088）882-0991
高 松（087）865-3666

大 阪（支）（06）6635-2222
近 畿（シ）（06）6632-1144
姫 路（079）234-6669
神 戸（078）231-6111
京 都（075）646-3800

名古屋（支）（052）802-2233
東海北陸（シ）（052）802-2233
津（059）234-0261
岐 阜（058）275-0805

豊 橋（0532）33-1500
静 岡（054）283-2220
松 本（0263）57-4625
福 井（0776）23-8153
金 沢（076）249-5301

東 京（支）（03）3409-5505
関 東（シ）（03）3499-5632
新 潟（025）287-3155
横 浜（045）784-1422
青 戸（03）3695-1811
八王子（042）637-1699
千 葉（043）232-5335
さいたま（048）663-8000

前 橋（027）263-3767
水 戸（029）248-3870
宇都宮（028）636-1210

仙 台（支）（022）786-5060
東北北海道（シ）（022）786-5064
郡 山（024）952-0095
盛 岡（019）641-1500
秋 田（018）862-7523
青 森（017）742-4227
札 幌（011）782-0711
釧 路（0154）23-8466
旭 川（0166）25-3111

（シ）：システム営業グループ



KG(N)-89-5178-3L

SEP., 2008